

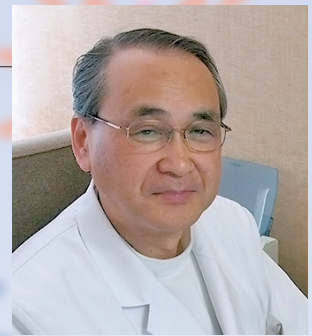
# がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



## ご挨拶

### 副院長 藤谷 恒明



本年4月より副院長職を拝命致しました藤谷恒明です。宜しく申し上げます。平成5年から勤務しておりますので今年で23年目になりました。

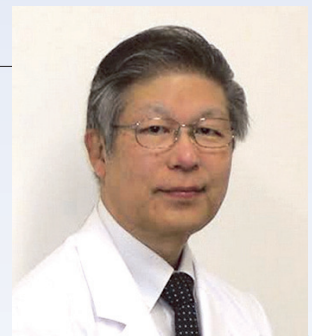
私が外科医として着任したこの平成5年は、移転に伴い名称が「成人病センター」から「がんセンター」に変わった年でした。新築された病院は7階建て、田んぼの中の小高い丘の上に建っているため、最上階から見ると北に仙台市街、東に太平洋、南に製紙工場等が遠望され、非常に魅力的な立地でした。

院内では当時先進的であったオーダーリングシステムが稼働し、新たに着任した若いドクターとともに、昼夜を問わず患者さんの診療に励んだことをつい昨日のこのように感じております。その頃一緒に仕事をさせて頂いた先生の中には、今でも患者さんの紹介等で大変お世話になっている方も多数おられます。改めて厚く御礼申し上げます。

私はがんセンターの大ファンです。少し鼻根目かもしれませんが、医師や看護師を始め薬剤師、技師など当院に勤務している全ての職員が、各部署でがん治療のプロフェッショナルであろうと日々努力しているからです。私同様に皆様にもがんセンターのファンになって頂けるよう、折に触れて当院の魅力をお伝えしていこうと思っております。

### 「総合がん検診」の発足にあたって

#### 総合がん検診センター長 松本 恒



平素は先生方にお世話になりましてありがとうございます。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

さて、当院では本年7月1日より「総合がん検診」を開始いたしましたので、ご紹介方々ご案内申し上げます。もとより、「癌による死」を避けるためには何より一次予防が大切ですが、それにはおのずから限界があり、どうしても二次予防に頼らざるを得ないのが現状です。一方、今日、癌診断の様々な分野での長足の進歩により、部位によっては超早期の癌検出も可能になってまいりました。

そのようなことが背景にあり、今般、私共の施設でも二次予防の一環として「総合がん検診」を発足させ、住民の方々への価値あるサービスを提供することとなりました。検診内容は胸・腹部臓器を主な対象とし、US、放射線検査、内視鏡、細胞診、腫瘍マーカーなどを適切に組み合わせた検査です（次ページをご覧ください）。本検診には、当院の特徴として、FDG-PET（PET-CT）を組み入れており、まさに「総合」という名に恥じない検診となっています。

濃厚な検診であり、費用が嵩む悩みはありますが、様々な経緯でご自分の癌にご関心のある方には是非受診していただき、「安心」という付加価値をお受けとりいただければ幸いです。さらに、万が一この検診で「要精査」の判定がありましても、切れ目のない、その後の診療についても準備万端整えております。

このような次第でございますので、私共の「総合がん検診」につきまして何卒ご理解、ご支援を頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

# 総合がん検診のご案内

がんの早期発見を目的とする、PET-CTを用いたがん検診を行っております。ただし、PET-CTだけでは発見しにくいがんや早期発見が困難ながんも存在するため、PET-CTの他に血液検査、腹部超音波検査、上部内視鏡検査などと組み合わせた「総合がん検診」として行っております。これらの検査を1日で終わらせようとすると、検査実施に伴う絶食時間が長くなり受診者の皆様のお身体の負担が非常に大きいこと、さらには医療安全上の問題を考慮した結果、基本コースは外来2日間となっております。各種がんの専門医、専門技術者が診察や検査を担当いたします。

## 検査項目と対象とするがんについて

対象臓器	検査項目			
食道・胃	経鼻上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)	尿素呼気試験(ピロリ菌検査)・ペプシノーゲン		
大腸	便潜血			
肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓	腹部超音波	肝炎ウイルス検査※1	腫瘍マーカー(AFP、CA19-9)	
肺	胸部CT(PET-CT)			
乳房	視・触診	マンモグラフィ	乳腺超音波	
子宮	子宮頸部細胞診	ハイリスクHPV-DNA検査	経膈超音波検査	骨盤MRI※2
卵巣	腫瘍マーカー(CA125)※2			骨盤MRI※2
前立腺	腫瘍マーカー(PSA)			
全身(非特定)	腫瘍マーカー(CEA)	PET-CT		
その他	血液※3	尿※4		

■ : オプション検査

※1 : HBs抗原、HBc抗体、HCV抗体

※2 : 基本コースに含まれております。

※3 : 肝臓系検査、腎臓系検査、膵臓系検査、脂質系検査、糖代謝系検査、血球系検査

※4 : 尿一般検査(定性、沈渣)

**検診日** 月曜日～金曜日

※オプション検査の乳がん・婦人科検診は月・木曜日のみとなります。

**検査料金** 基本コース (2日間通院)

**女性** ￥194,400 (税込)

**男性** ￥157,000 (税込)

**オプション検査 (別料金)**

- ・尿素呼気試験 (ピロリ菌検査)・ペプシノーゲン検査 (2日目)…… ￥6,480 (税込)
- ・乳がん検診 (2日目)…………… ￥10,800 (税込)
- ・婦人科検診 (子宮頸部細胞診・経膈超音波検査) (2日目)…………… ￥10,800 (税込)
- ・婦人科検診 (ハイリスクHPV-DNA検査) (2日目)…………… ￥4,320 (税込)

## 新任医師の紹介

なかほ としみち  
緩和ケア内科 科長 **中保 利通**

平成12年以来15年間東北大学病院の緩和ケア病棟、緩和ケアチームを活動の主な拠点にしてきましたが、このたび縁あって小笠原鉄郎先生の後任として6月1日に着任しました。単に療養空間が整っているだけでなく、ケアの内容など機能的にも非常に高い評価を受けている当院緩和ケア病棟で仕事ができることは大変光栄なことです。

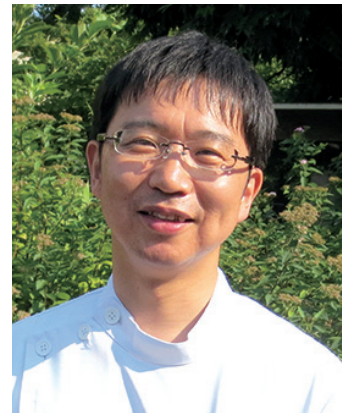
がん診療レベルをより高いものにするために、様々な職種メンバーの皆さんと力を合わせて、治せない病気を抱える多くの人々にも安心と満足感を持っていただけるよう努めたいと思っています。



## 緩和ケアチーム紹介

のむら りょう  
宮城県立精神医療センター兼務 精神科医師 **野村 綾**

「綾」と書いて「りょう」と読みます。女性のような名前ですが男性です。見かけは中保先生にやや似ているようで（光栄です）、この春から何人かの方に間違われています。3年ほど前から週に2回、精神医療センターより来ています。不眠、不安、抑うつなど、よろずご相談にのりたいと思っています。お気軽にお声がけください。よろしくお願いたします。



## 緩和ケアチームの活動内容

当院では、2008年よりがんにより体や心のさまざまな苦痛を抱える患者さんやご家族等に対して、症状緩和のための診療・ケア及びアドバイスを行う多職種で構成された『緩和ケアチーム』を設置しております。

日本ではまだ誤解されることもありますが、「緩和ケア」=「終末期医療」ではなく、病状のどの時期においても行われる医療であり、緩和ケアチームは、患者さんの症状を緩和しながら、患者さんやご家族にとって可能な限り良好な生活の質(Quality of Life)の達成を目指し、充実した日々を送ることができるよう支援することを目的としています。

チームのメンバーは緩和ケア内科医師・腫瘍内科医師・放射線治療科医師・精神科医師・4分野の認定看護師(がん性疼痛看護・緩和ケア・がん化学療法看護・放射線療法看護)・臨床心理士・薬剤師・医療ソーシャルワーカーが中心となり、必要に応じてリハビリテーション科や栄養科などと協働し診療にあたっています。





# がんセンター消化器 地域医療連携の会

消化器内科 野口 哲也

現在の医療において、地域医療機関との連携は大変重要となっています。がんセンターの特徴として、消化器内科・外科・腫瘍内科・放射線治療科、そして、緩和医療科と、消化器癌において、診断から治療まで、専門医による診断治療がなされ、総合的な集学的診断治療が行われています。すなわち、当センターに消化器がん患者を紹介して頂ければ、早期癌であろうと、進行癌であろうと、内視鏡治療、外科切除、化学療法、放射線治療、緩和医療、そして在宅医療まで担う地域医療連携を目的に懇親の場を設けたいと考えて計画しております。

日時：平成27年**11月4日**(水) なお、詳細は、改めて後日ご連絡致します。  
 場所：江陽グランドホテル 振るってご参加ください。



## 外来新患診療体制表

平成27年 8月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●		●		●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科				●		●
乳腺外科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸部外科		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和ケア内科				●		●

\*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。  
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



### 交通案内

**J 桜交** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
**仙南交** 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
**自家用車** 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

### 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線123
- FAX (022) 381-1169 (地域医療連携室)

**宮城県立がんセンター**  
 〒981-1293 宮城県名取市愛宕塩手字野田山47の1  
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。